

コミュニティのチカラ

地域コミュニティの活動を紹介します

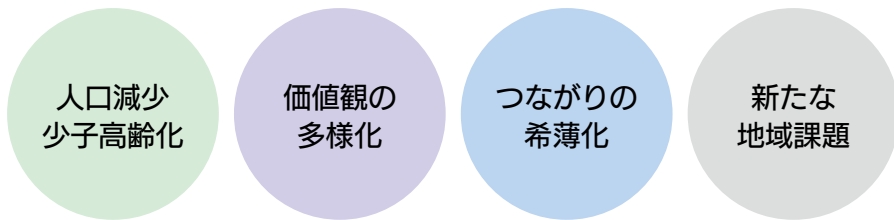
筑紫野市では、共助社会づくりに向けて、地域コミュニティによるまちづくりを推進しています。



少子高齢化や人口減少の進行、核家族化や都市化によって私たちの暮らしのあり方が変化する中、安全安心のまちづくりや地域における支え合いの基盤などさまざまな課題の解決に向けて地域の役割が期待されています。その反面、相互扶助意識の低下などにより地域の担い手が不足し、今までのように活動していくことが難しくなっています。

筑紫野市では、平成26年12月までに地域の中核となる七つのコミュニティ運営協議会が設立されました。自治会などの地縁団体、ボランティアやサークルなどの特定の目的を持つ機能団体がそれぞれの特性を生かしつつ、足りないところを補い合いながら協働し、地域の課題を地域自らで解決する「地域コミュニティによるまちづくり」の取り組みが進められています。

各コミュニティ運営協議会では、「防災」「福祉」「教育」などの地域課題の解決に向けた事業が展開されています。



自治体や団体単独での活動が困難

自治会や団体同士が協力して地域の課題を地域自らで解決する「地域コミュニティによるまちづくり」

特に、認知症支援などの自治会では解決できない広域的な地域課題や、単独での活動が困難な自治会（公民館）への支援と補完に取り組んでいます。

「コロナ禍でもできること」に取り組んでいます

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動が大きく制限される中、工夫しながら活動を行っています。

【令和2年度の取り組みの一例】

- ・コミュニティ文化祭をインターネット配信やギャラリー展示で実施
- ・公民館出前講座
- ・防災士の養成
- ・日常のちょっとした困りごとを解決する生活支援

